

## 平成6年度東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成の 候補者推薦要領の概要

### I. 東レ科学技術賞 (概要)

1. 候補者の対象……貴学協会に関する分野で、  
下記に該当するもの  
(1)学術上の業績が顕著なもの  
(2)学術上重要な発見をしたもの  
(3)重要な発明をして、その  
効果が大きいもの  
(4)技術上重要な問題を解決  
して、技術の進歩に大きく  
貢献したもの
2. 科学技術賞……2件前後、1件につき、賞  
状、金メダルおよび賞金500  
万円
3. 候補者推薦件数……1学協会から2件以内
4. 推薦締切期日……平成6年10月7日(金)  
東レ科学振興会必着

### II. 東レ科学技術研究助成 (概要)

1. 候補者の対象……貴学協会に関する分野で国  
内の研究機関において基礎  
的な研究に従事し、今後の  
研究の成果が科学技術の進  
歩、発展に貢献するところ  
が大きいと考えられる独創  
的、萌芽的研究を活発に  
行っている若手研究者
2. 研究助成金……総額1億3千万円、10件程  
度、とくに必要と認められ  
る場合は1件3,000万円程  
度まで助成する
3. 候補者推薦件数……1学協会から2件以内
4. 推薦締切期日……平成6年10月7日(金)  
東レ科学振興会必着

注：平成6年度の候補者推薦要領と推薦書用紙は6月  
中に日本気象学会に届く予定です。

編集後記：未知の人と話すときの話題として、天候がよく選ばれます。話の糸口を見つけるためなのですが、それだけ気象が共通の関心事ということでしょう。最近では地球環境の主要部分としての大気が脚光を浴び、気候変動について新聞などでもしばしば取り上げられてはいますが、こちらは気軽に庶民の口の端に上るほどにはなっていないようです。これを我々気象人の努力不足と見るか、皆が頻繁に話題にしなければならないような事態ではないのだと考えるかは、見方が分かれるかもしれません。が、物質循環の面では閉鎖系、エネルギー的には開放系である地球の住民としては、やはり最低限の認識は各自が持たなければならないでしょう。子供達へ正の財産を残すためにも、

さて、編集委員になって3年がすぎようとしていま

す。その間、昨年の夏に横浜で行われましたIAMAP '93 関連と索引の作成を担当してきました。おかげさまでIAMAP '93は無事終了し、その報告特集号を4月号に同封すべく、特集号編集委員会は今最後の追い込みにかかっています。索引の方は、1982年から1992年までの11年間の項目索引を、昨年の8月号に掲載することができました。また、お約束しておりました著者別索引についても今年の夏にはお届けできるよう、著者別索引用に再編成しましたデータベースのチェックを行っているところです。気象学会BBSにもデータベースを掲載する方向で検討がされています。もう少しお待ちいただけますようお願いいたします。

(里村雄彦)